

(公社)地すべり学会 新潟支部
平成 29 年度 第 7 回幹事会議事録

日 時：平成 30 年 2 月 13 日（火）18:30～21:30

場 所：新潟大学 災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

出席者：福岡，渡部（直），稲葉，茂木，佐藤（壽），渡部（哲），大矢，金澤，五十嵐，藤ノ木，
佐藤（博）古宇田（12 名）

記 録：五十嵐

1. 各部会の進行状況

①総務（稲葉幹事長）

- ・朱鷺メッセ，アド・メディックに見積もり修正を依頼した。修正後は下記の通り。
朱鷺メッセ 2,038,642 円→1,845,862 円
アド・メディック 2,008,800 円→1,684,800 円+50,000 円(名札代)
- ・実行委員会提出予算案を参考に，大会関係予算(事業計画部)を本部へ提出した。

②県民講演会（渡部副支部長）

- ・前回報告のとおり。

③特別講演（渡部副支部長）

- ・講師からは内諾を得ている。講演内容は地すべりや地質，ジオパーク等を考えている。

④受付

- ・担当者欠席のため，報告事項なし。

⑤研究発表会（渡部副幹事長）

- ・大会スタッフについて 40 名程度必要と考えられるため，各組織(民間会社 11 社，新潟大，長岡技科大，新潟県 3 課)から 3 名前後の協力をお願いしたい。
- ・2 階の会議室にクロークを設け，担当者が常駐して対応する。
- ・今後，渡部(哲)副幹事長より各組織へ依頼する。
- ・正式な依頼文書が必要な時は支部から（実行委員長名で）依頼文書を発行する。
- ・今後，会場スタッフの役割や人数等について精査を行う。

⑥意見交換会（藤ノ木幹事）

- ・ケータリングメニューの変更案を作成した。メニューや酒の銘柄については，今後意見があれば再考する。
- ・ケータリングメニューについては，ボリュームのある品を混ぜ，短時間に料理が無くならない様に工夫する。
- ・日本酒(一升瓶)については，20 銘柄×2 本とする。
- ・枝豆については，大盛りにしてトング等により取り分ける方法を検討する。
- ・大会期間中に地酒の販売が可能か，ふるさと村に確認する。販売場所としては，2 階受付の周辺が考えられるが，十分なスペースが確保できるのは 2 日目からとなる。

⑦新技術紹介

- ・担当者欠席のため，報告事項なし。
- ・3 月号会告用の原稿は作成済み。

⑧現地見学

- ・糸魚川コースについては、ホテル 40 室、バスを手配済みである。
- ・滝坂コースについては、阿賀野川河川事務所長より全面協力するとの話を頂いている(地整のマイクロバスや説明および案内等)。
- ・松之山コースについては、人数がまとまれば宿のバスが送迎してくれる可能性がある。
- ・見学会は有料となるため、旅行業法に抵触しないか確認する(渡部副支部長)。
- ・最少人数を決め、人数に満たなければ中止する(このことは会告にも記す)。

⑨広報(福岡支部長)

- ・マスコミ等にはこれから接触する。

⑩会計(古宇田幹事, 渡部副支部長)

- ・これまでの見積を基に参加費を現実的な線で設定し、以下のとおりとする。

	県民講演会	研究発表会	意見交換会	現地見学会		
				滝坂コース	松之山コース	糸魚川コース
正会員(事前申込)	無料	¥5,000	¥6,000	¥5,000	¥15,000	¥10,000
正会員(当日申込)	無料	¥8,000	¥7,000	-	-	-
学生会員	無料	無料	¥3,000	¥3,000	¥10,000	¥7,000
非会員	無料	¥8,000	¥7,000	¥5,000	¥15,000	¥10,000

- ・紙製本の講演集 5,000 円/部
- ・広告料(A4サイズ) 半ページ 30,000 円, 1 ページ 50,000 円, 2 ページ 100,000 円

⑪支部出版物 DVD(稲葉幹事長)

- ・本部へは、支部事業として電子化作業 20 万円の予算で報告。
- ・大会ではこれらを DVD に収めて参加者に無料配布する。作成費は実行委員会経費で賄う。
- ・作成にあたり出版委員会への申請書提出が必要となるか、ISBN の取り扱いも含め、本部へ確認する(渡部副支部長)。

2. 3月号会告原稿

- ・昨年 3 月号の会告をベースとして原稿を作成する。とりまとめ、投稿は稲葉幹事長。
- ・講演要旨作成・投稿要領, 若手優秀発表章の表彰については、本部の担当。
- ・参加費等については、上記⑩会計で示したとおり。
- ・発表申込期間は、平成 30 年 5 月 8 日～5 月 31 日とする。
- ・県民講演会のタイトルを講師に確認する(渡部副支部長)。
- ・現地見学各コースの簡単な説明を記載する(渡部副支部長)。
- ・新技術, 広告の申込期間は、平成 30 年 4 月 16 日～6 月 18 日とする。また、申込専用のメールアドレスは昨年度会告にならい、本部で設定したものを記す(実行委員の担当者へ転送するよう設定か?)。
- ・今回の大会では、ランドスライドフォトコンテストは実施しない。大会は表彰を行う場とし、コンテストは通年募集すればよいのでは、動画も含めてはどうか、などの意見があった。
- ・講演要旨作成・投稿要領, 若手優秀発表章の表彰の原稿については、本部担当。

3. 特別セッション

- ・「線状降水帯による斜面災害」をテーマとする。このテーマを本部へ伝える(稲葉幹事長)。
- ・世話人については、土木研究所, 国土技術政策総合研究所, 防災科学技術研究所, 森林研究整備機構などをお願いしたい(渡部副支部長)。

4. 来年度支部シンポジウムの内容

- ・6/1(金)で県民会館小ホール, 白山会館を予約済み。
- ・テーマ, 概要, 会費を 3 月号会告に掲載する。とりまとめ、投稿は稲葉幹事長。

- ・テーマ・概要の担当は渡部副支部長。
- ・会費については昨年と同額とする。シンポジウム：会員 2,000 円，非会員 3,000 円，学生無料，意見交換会：会員・非会員 5,000 円，学生 2,500 円
- ・午前中の基調講演については，福岡支部長から対象者に依頼する。

5. その他

- ・地すべり災害記録 CD については，山下副幹事長によって作業が進行中である。

次回日時

3 月 22 日 (木) 18:30～災害・復興科学研究所 1 階プレゼンテーションルーム